







# 今宿散策 その二

## ③飢人地蔵

今宿駅前一丁目(東松原二丁目)、今宿旧道の中程にある地蔵堂。

享保16年(1731)～17年にかけては、西日本一帯が、大風、長雨、虫害(ウンカ)のため、麦も米も凶作となり、大飢饉に見まわれました。今宿も例外ではなく、飢餓に加えて、疫病も発生し、人間ばかりではなく、動物も見まわれました。今宿も例外ではなく、飢餓に加えて、疫病も発生し、人間ばかりではなく、動物も見まわれました。

近郷からたくさんのが集まりました。しかし今宿にたどり着いたと倒れ、ついにその数は千人を超えたといわれています。この年は死者は、徳永村だけで、村民六百人のうち、半数の三百人にもなったといわれています。

こうした行倒れの人々を葬つて供養した場所に建てられたのが飢人地蔵です。このほか上町の觀音堂、北原の法華万靈塔も同様に享保大飢饉の死者供養として建てられたものです。



## ほのほの インタビュー セイワ堂楽器

筒井 清さん



今月は、今宿駅前で楽器店を経営しておられるセイワ楽器のご主人をお訪ねしました。切れ長の目元がとても涼しい、和服の似合い、そんな素敵なお方です。

——生年月日と血液型を。

筒井 徒兄弟が楽器の修理

を継ぐつもりでこの世界に入りました。44年から3年間

ヤマハに勤め、48年に雑餉

限に店を設けて独立。50年

までに店を設けて独立。50年

までに店